校内研究　ＩＣＴ機器活用指導案

教科･学年･組･授業者	道徳　３年Ａ組　甲賀　文晶
授業日時・場所	令和２年１０月２８日（水）　３年Ａ組教室
単　元　名	１５　言葉の向こうに
単元の目標	それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。
単元の指導計画	【情報・安全】 ①１４　ある朝のできごと ②（本時）１５　言葉の向こうに
本時の目標	自分の発する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることや、異なった意見や考えを受け入れることの大切さを理解する。
本時の評価	目標に対する発言や記述があったか。
本時の授業形態	☑一　斉　☐少人数　☐習熟度別　☐グループ　☐個　別

タブレット端末の活用

授業場所	☑普通教室　☐学習室　☐視聴覚室　☐その他（　　）
活用場面	☑導　入　☑展　開　☑まとめ　☐その他（　　）
活用機器	☑学習者用タブレット　☑指導者用タブレット　☐電子黒板 ☑実物投影機　☐その他（　　）
活用 アプリケーションなど	☐ワープロ　☐表計算　☐プレゼンテーション　☐データベース ☐画　像　☐動　画　☐カメラ　☐作　画　☐編　集 ☑デジタル教科書　☐NHK for school　☐その他（　　） ☑まなびポケット ☑スクールタクト　☐AIAIモンキー　☐コラボノート ☐イングリッシュセントラル　☑その他（　Forms　）
活用形態	☑１人１台　☐学習班に1台　☐その他（　　）
タブレット端末活用のねらい・効果	全体の前で発言ができない生徒でも、自分の考えを入力し、意欲的に本時のテーマについて考えることができたか。

授業展開例

	学習内容 生徒の学習活動	ＩＣＴ活用場面 ＩＣＴ活用のポイント	○指導上の留意点 ☆評価
導入	・動画を視聴する。 ・アンケートに答える。	・YouTubeで故・木村花さんの動画を視聴する。 ・schoolTaktにログインさせる。 ・自分自身のことを振り返り、アンケートに答える。	○身近な話題であることをとらえさせる。
展開	・誹謗中傷とはどのようなものか、チャット機能を使用して実感する。 ・教科書p.92言葉の向こうにを読む。	・あるテーマについて、賛成派、反対派にわけ、誹謗中傷とはどのようなものか実感させる。 ・デジタル教科書の範読機能を使用する。	○身近な話題であることをとらえさせる。 ○「私」の心情に自分自身を重ねて聞かせる。
	・チャット機能を使用して、自分の意見を入力する①。 ・チャット機能を使用して、自分の意見を入力する②。	・意見に自分の名前を付け加えて入力させる。 ・ログが流れてしまうので、入力された意見から教師が読み上げていく。	○自分の意見をすぐに入力できない生徒も他の生徒の意見を参考に、入力できるようにする。 ☆異なった意見を認める態度。
	・自分のページに意見を入力する①。 ・自分のページに意見を入力する②。 ・他の生徒の意見を見たり聞いたりする。	・schoolTaktの自身のページに意見を入力する。 ※本時では共同閲覧モードは使用しない。	○机間巡視をし、異なった意見の生徒を数名発表させる。 ※異なった意見や考えがあることを理解したか。
まとめ	・本日の振り返りをFormsで答える。	・チャット欄にFormsのURLを貼り付け、すぐにリンクに飛ぶことができるようにする。 ・即座に集計結果を生徒に公表し、本時の振り返りを共有する。	☆異なった意見や考えを受け入れることの大切さを理解した記述があったか。